

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道4号 仙台拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：宮城県仙台市宮城野区苦竹 至：宮城県仙台市宮城野区燕沢	延長 2.8 km	
事業概要 国道4号は、東京都中央区と青森県青森市を結び、広域交流の支援並びに沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。仙台拡幅は、仙台市内における国道4号バイパスの慢性的な渋滞の緩和を目的とした事業である。		
H元年度事業化	H6年度都市計画決定	H3年度用地着手
H4年度工事着手		
全体事業費	約 180 億円	事業進捗率 50 %
計画交通量	76,200 台/日	供用済延長 0.0 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 4.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 94/203億円 事業費 ：79/189 億円 維持管理費 ：15/15 億円
	総便益 (残事業)/ (事業全体) 420/420 億円 走行時間短縮便益 ：405/405億円 走行費用減少便益 ：9/9億円 交通事故減少便益 ：6/6億円	基準年 平成 15 年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（渋滞交差点山崎交差点における渋滞の緩和が見込まれる） ・都市の再生（新田 東土地区画整理事業等の沿道まちづくりとの連携あり） 他14項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 仙台拡幅は、仙台市内の慢性的な渋滞緩和等に重要な役割を果たす事が期待されており、仙台都市圏広域行政推進協議会（仙台市）より早期整備の要望（平成15年7月25日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：91億円（進捗率50%） うち用地費：25億円（進捗率79%）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 河川改修事業との調整に時間を要したが、現在は事業進捗に係る問題は解消しており、平成19年度の全線供用を目標に事業推進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 工期短縮に効果的で、経済的でもあるプレキャスト製品の長尺化等によるコストの縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
<p>The map shows the project route from Senjigahara (I.C.) to Tsubome. Key features include the JR Sendai Line, the Tsubome Interchange, and the planned expansion of National Route 4. A legend indicates that the area between Senjigahara and Tsubome is currently under construction. The map also shows the project's location within the Tohoku region of Japan, with labels for Aomori, Iwate, Miyagi, and Yamagata prefectures.</p>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。